

BSE に係るリスク管理の経済評価と最適化に関する研究

1 中核機関・研究総括者

研究総括者：アミタ株式会社 嘉田良平

2 研究期間

2005～2007 年度（3 年間）

3 研究目的

BSE に係るリスク管理措置の総合的な経済評価・経済分析を行い、リスク管理の最適化に関する総合的な検討を行う。

4 研究内容及び実施体制

- ① 消費者の食品安全に関する需要分析（アミタ（株）、京都大学）
消費者の食品安全に関する国民の選好やリスク管理に対するニーズ等を把握する。
- ② リスク管理の費用対効果分析（アミタ（株）、京都大学）
肉骨粉の処理、全頭検査、死亡牛検査、SRM 除去、トレーサビリティシステムなど、これまでに実施されてきた BSE リスクの各管理措置を対象に、その費用対効果の視点から評価を行う。
- ③ リスク管理の国際比較研究（アミタ（株）、京都大学）
欧州及び北米諸国における BSE リスクの管理について調査を実施し、わが国における今後の効率的・効果的なリスク管理のあり方について国際比較による検討を行う。
- ④ リスク管理の最適化手法に関する検討（アミタ（株））
上記①～③の研究成果を踏まえて、どのような管理措置（とその組み合わせ）が BSE に係るリスク管理において最も適切であるのかについて総合的な検討を行い、リスク管理の最適化に関する示唆を得る。

5 目標とする成果

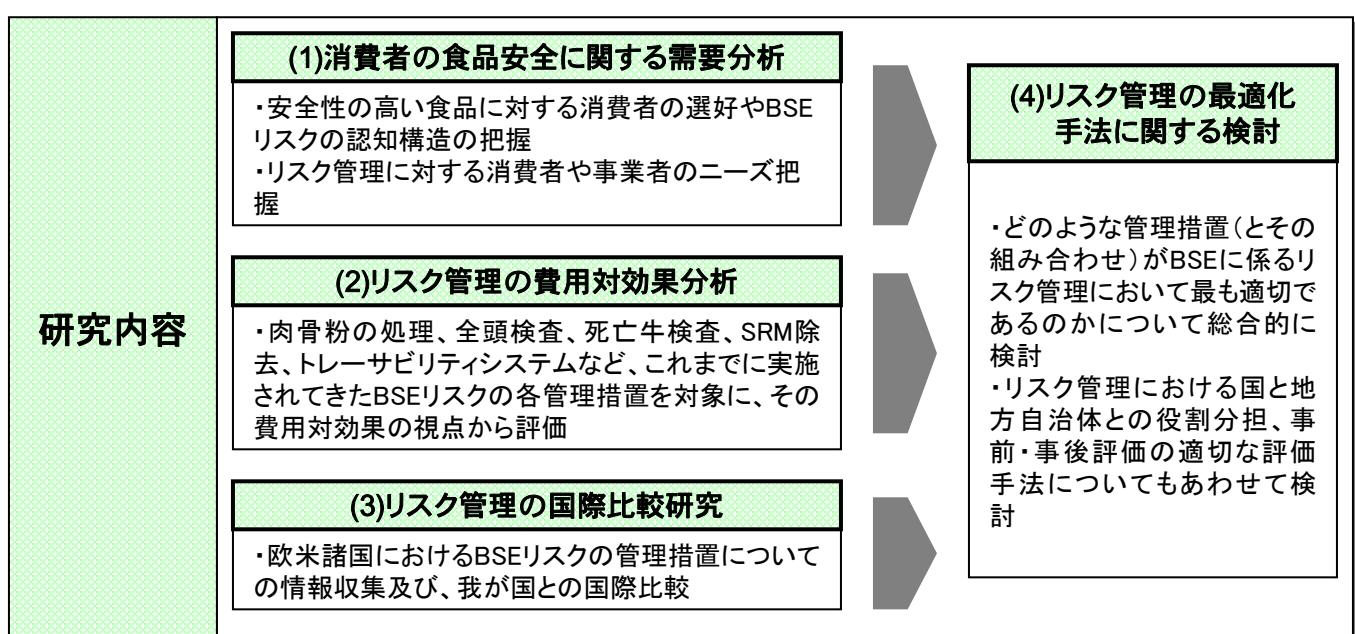
研究を実施することで得られた知見を基に、さまざまな主体が適切な管理体制のもと、リスク管理措置を実施していくことで、BSE に係るリスク管理の効率性・有効性の向上（短期的な成果）、リスク管理に対する国内のコンセンサスの醸成（中長期的な成果）が期待される。

BSEに係るリスク管理の経済評価と最適化に関する研究

現 状	<ul style="list-style-type: none">・自然科学的な知見に基づきリスク管理措置を実施しているものの、科学的データの蓄積が不十分なケースあり・費用対効果の観点から見て過剰なリスク管理措置が行われているとの批判あり(費用対効果の観点からも適正なリスク管理が求められている)・「ゼロリスク症候群」など、消費者の不安感は今なお消えず・関連業界への経済的影響も大・関係者間でのリスクコミュニケーションの不足、情報伝達問題もクローズアップ
-----	--

課 題	<ul style="list-style-type: none">・国民に無用の誤解や負担を与えないように、リスク管理措置の最適化を図る必要あり・適切なBSEのリスク管理の実施と最適化に向けて、総合的な経済評価分析は不可欠
-----	---

研究目的	BSEに係るリスク管理措置の総合的な経済評価・経済分析を行い、リスク管理の最適化手法に関する検討を行う
------	---



研究成果	<ul style="list-style-type: none">・リスク管理の効率性・有効性の向上(短期的な成果)・リスク管理に対する国内のコンセンサスの醸成(中長期的な成果)
------	---